

野菜の抗酸化性特性について

「子供、老人、アレルギーの人達が安心して食べられる抗酸化特性野菜」

順天堂大学 大学院 医学研究科

漢方医学先端臨床センター

・山口琢児 博士 (医薬学)

NPO免疫治療法懇談会理事

・豊田哲郎 博士

酸化ストレス

酸化ストレスは数多くの疾病や老化現象に深く関わっており、酸化ストレスの低減は疾病予防や老化制御に役立つことが期待されています。

酸化ストレスとは、体内で発生する活性酸素と、活性酸素を消去する抗酸化能のバランスが崩れることによって生じます。

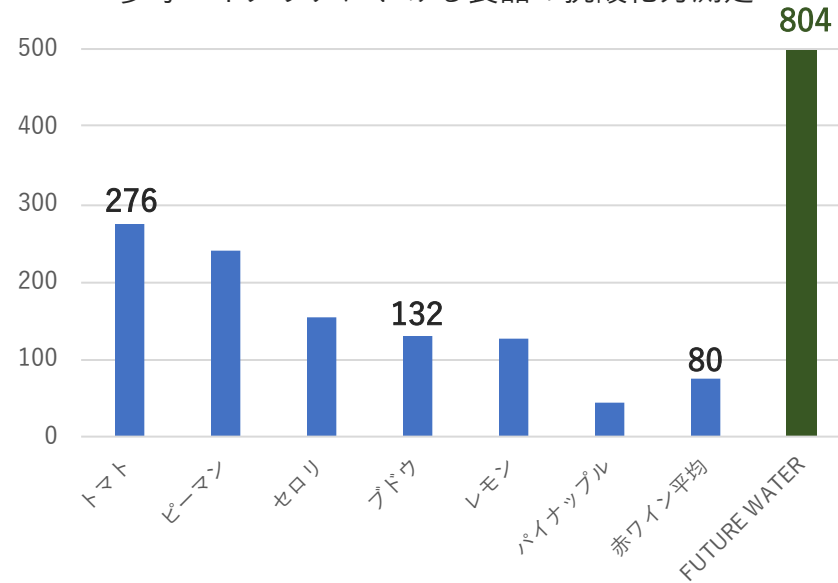
活性酸素は DNA、細胞等を傷つけ、種々の臓器障害を惹起します。そのため生体は抗酸化物質を合成し、また外部から摂取することによって活性酸素を捕捉し、その傷害から生体を防御しています。抗酸化物質と活性酸素のバランスが崩れると酸化ストレスとなり、動脈硬化やアルツハイマーなど、様々な疾病の原因となります。生体中で働く抗酸化物質には尿酸やアスコルビン酸、グルタチオンなどがあり、これらを総合的に評価する指標が総抗酸化能です。

総抗酸化能は老化や疾病のマーカーとして大きく期待されています。

強い抗酸化力による良い影響

FUTURE WATERの抗酸化力

参考：イタリアにおける食品の抗酸化力測定



様々な食品に勝る抗酸化力！

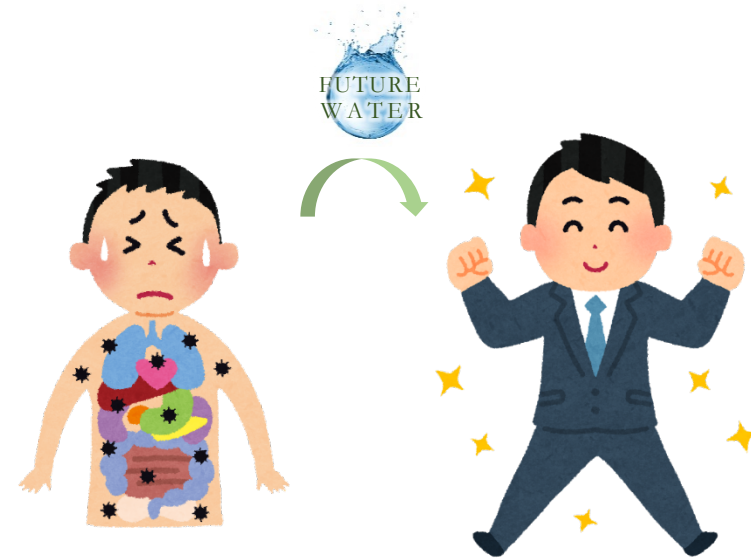
種類	総抗酸化力(umol/ml HClO)
FUTURE WATER×20	804
一般的な還元水	17

ヒトの体に及ぼす良い影響力

酸化ストレスの軽減

疾病予防

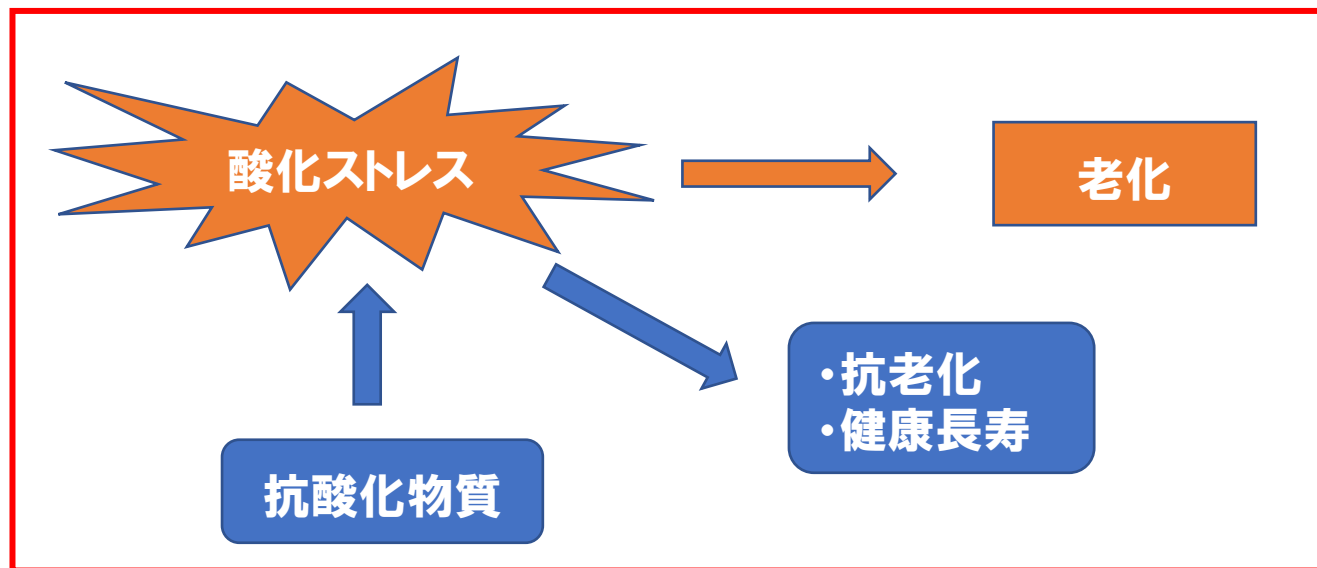
老化制御



疲労／老化／ガン／糖尿病
アルツハイマー／動脈硬化
シミ・しわなどの原因となる
活性酸素

活性酸素の動きを阻止・抑制し、アンチエイジングや
各種疾病の予防に。

- ・ヒトの寿命、決めているのは抗酸化酵素とよばれる活性酸素種および活性酸素種による酸化による障害を抑制する物質の存在
- ・生体内の抗酸化酵素の延命こそがヒトの寿命を決める
- ・抗酸化酵素の延命に関わっているのが体外から摂取する抗酸化物質
- ・抗酸化物質の多くは、野菜や果実、穀物から摂取
- ・体外から摂取する抗酸化物質は、抗酸化能の低下を補完する役割を担っている



腸内細菌叢異常と慢性炎症

